

令和3年度

学校関係者評価委員会 報告書

評価対象期間

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

令和4年6月

学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会の開催について

1. 開催日時

第1回：令和3年7月29日（木）

第2回：令和4年2月17日（木）

2. 開催場所

看護専門学校 会議室、ZOOM（ハイブリッド）

3. 学校関係者委員会委員

1) 養成教育に関し知見を有する者

八千代マタニティセンター 武田助産院 武田 智子

2) 教育に関し知見を有する者

東京都台東区教育委員会・文教大学 阪本 陽子

3) 養成教育に関わる臨地実習施設関係者

ふれあい訪問看護ステーション 小暮 和歌子

4) 卒業生代表

埼玉県看護協会・春日部市立医療センター 吉川 孝子

4. 学校関係者委員会報告

(1) 令和2年度学校評価自己点検・自己評価項目別の課題に対する進捗の報告

- ・教員の成績管理について、新システムの準備が整い9月より運用を開始する
- ・新カリキュラム改定について、7月14日に東京都に書類提出を完了した

(2) 令和2年度 学校満足度調査

- ・令和元年、平成30年と比較して、満足度の輪が小さく満足度は下がったと言える
- ・特に、Q21・Q22の学外活動や、Q8・Q9の授業内容について満足度の低下が見られた
- ・満足度低下要因として、①コロナ禍のために行事が行えなかった②遠隔授業で必要なZOOMに不慣れであった③実習期間の短縮などが挙げられた

(3) 令和3年度の自己点検・自己評価の項目別の課題に対する進捗の報告

- ・内潟校長より、PCR検査は長期休み前、実習前に行っている旨確認があった
- ・オミクロン株の感染者は15名であるが、クラスターではなかった旨確認があった

5. 令和3年度自己評価項目および審議結果

評価項目	評価平均値	意見等
1. 教育理念・目標	4.0	意見なし
2. 学校運営	3.9	・出席日数の自己管理不足や学習方法の未熟さがある学生について、今後は自主的に行えるような指導が重要である。
3. 教育活動	3.6	・コロナ禍において臨地での実習が行えない場合の臨場感を持った学内実習方法を精選し、目標達成できるよう検討が必要である ・教員の教育活動に対する学生からのフィードバックシステムが現在ないため、作成していく必要がある ・
4. 学修成果	3.6	意見なし
5. 学生支援	3.5	意見なし
6. 教育環境	3.7	・図書や教材の不足について、これから対策を考えているのか。
7. 学生の受け入れ・募集	3.7	・面接の評価項目を、本校のアドミッションポリシーを満たすよう整理する必要がある ・新校舎は魅力的なので広く広報すると良い ・高校生になりたい職業1位は看護師である。コロナ禍のピンチをチャンスと捉えいい人材を確保してほしい ・TwitterなどのSNSの活用は学生のニーズに合わせてよいと思う。インスタグラムも学生は使用しているので、検討をしてほしい。
8. 財務	4.0	意見なし
9. 法令の遵守	4.0	意見なし
10. 社会貢献・地域貢献	2.0	・コロナ禍であり活動が難しいところであるが、他の看護専門学校は何か活動を行っている現状がある。例えばイスラム圏の方の講演を聞くだけでも、看護師として現場に出た時に役立ち、異文化理解につながると思う
11. 国際交流	2.0	意見なし